

ウィルプラス

WILL PLUS No.82 2015

公益財団法人 あいち男女共同参画財団

◆ 結婚年別にみた、恋愛結婚・見合い結婚の構成 ◆



資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」より作成

(注) 対象は初婚どうしの夫婦

特集 ともに生きる ～今どきの結婚事情～ 1~2

団体紹介 3

北名古屋市女性の会

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー 4

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社

碧海信用金庫

愛知県のトピックス 5

女性の活躍状況「見える化」調査結果

情報ライブラリーBook Cafe 6

今知りたい、今読みたい本 ～女性たちと政治～

ウィルおじさん 7

ウィルあいちのご案内 7

ともに生きる ～今どきの結婚事情～

「婚活」という言葉が表しているように、出会いに向けて活動しなければ結婚は難しい時代になりました。今どきの結婚事情について、結婚支援アドバイザーの板本洋子さんにお伺いしました。

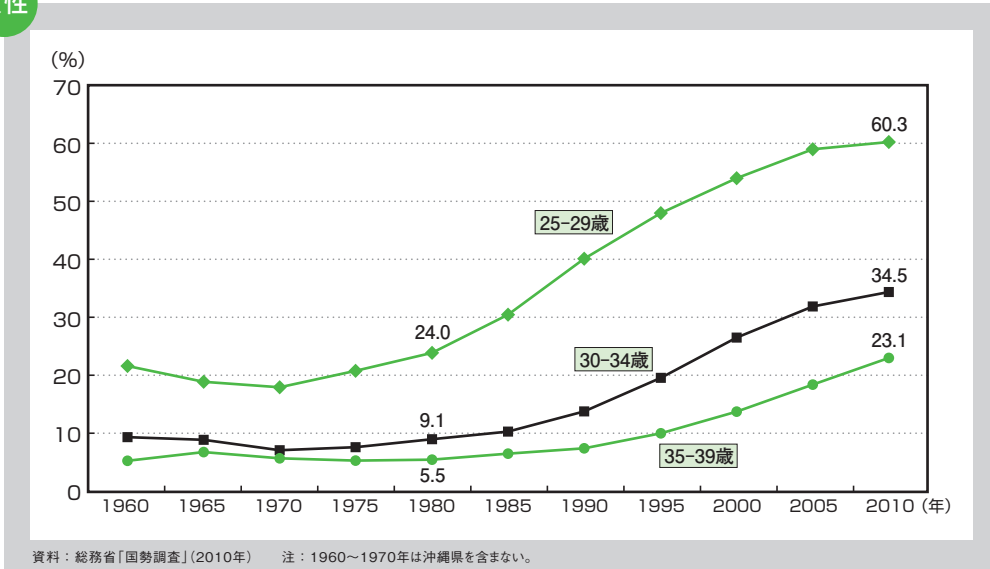
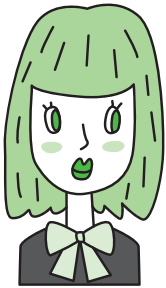
しあわせな「結婚」を望む気持ち、その出会いへの期待感は、いつの時代も今も、変わらない。結婚紹介に関わる仕事を35年続けてきて感じることである。しかし、その思いとは裏腹に「結婚難時代」という変化の兆しを感じたのは30年ほど前だった。当初は「男女の結婚観の違い」や「仕事一辺倒の男性社会」「女性の社会進出」

などが要因と言われた。しかし、その後も上昇する未婚、晩婚化の中で「少子化問題」が浮上。その要因の一つとして「未婚化、晩婚化」が改めて見直されるようになった。

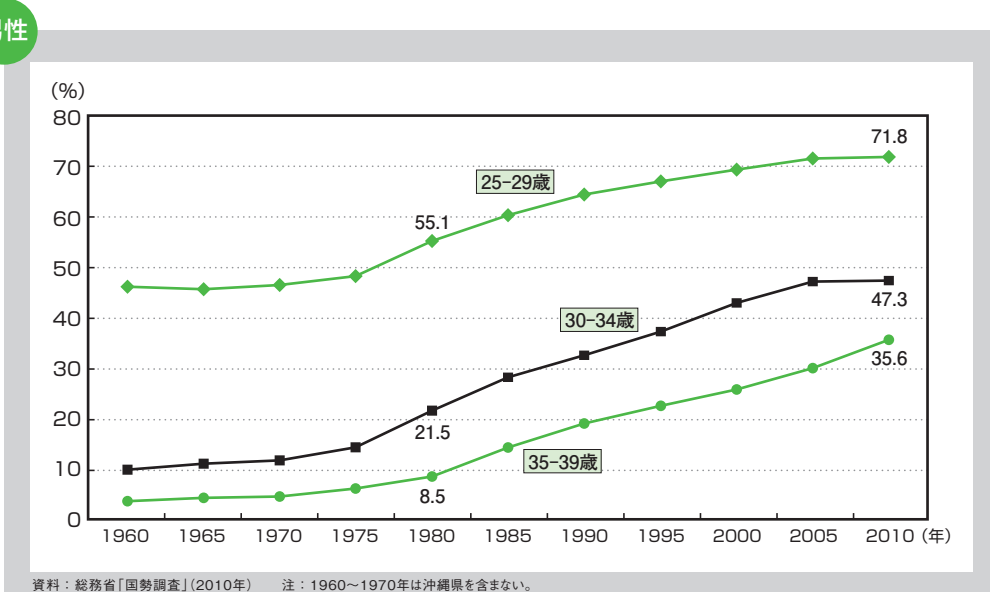
平成26年版「少子化社会対策白書」によれば、25～29歳の女性の未婚率は60.3%、男性は71.8%である。この30年間の上昇はいちじるしい。

年齢別未婚率の推移

女性



男性



(出所：内閣府「平成26年版少子化社会対策白書」)

こうした状況を背景に「結婚支援事業」は各地で隆盛だ。

現在、行政が取り組む「結婚支援事業」は市町村の約40%、都道府県の約66%が実施している。民間の結婚紹介サービス業界も4000社に上る。また、各種団体やNPO法人や企業関係に異業種交流など、「婚活百花繚乱社会」が出現している。全国で展開される婚活。視点を変えれば、「結婚脅迫社会」ともいえる危うい時代である。婚姻の有無が個人の評価につながる側面もあり、プレッシャーで、親子それぞれに婚活疲れの相談を受けることも多くなった。加えて、結婚支援者も縁を取り持てないと悩む。

地方自治体の結婚支援事業は1960年代、過疎に悩む農村で農家の後継者の嫁対策からスタート、半世紀たった現在も続いている。出会いイベントや地域ボランティアによる個別紹介などが主な内容だが、結婚規範が働いていた年代からみれば、成婚に至るケースがとても少なく、悩みが多い。

最近では、結婚支援の副次的効果を重視する動きも活発化してきた。商店街を舞台にした数百人規模の合コンは「街コン」と呼ばれ、地域の活性化に一役買っている。農業体験や地場産業のPR、自営業支援、各種公共施設の有効利用、若者育成の機会提供など、成婚という究極の目的だけではない出会いイベントとしての視点が含まれる。

とはいえ、行政にとって「結婚」や「少子化」企画の究極の目標はやはり成婚数。「出会いの機会」の提供が成婚・出産へと数値で結果をだせず、対症療法的支援にジレンマを感じている担当者もいる。

なぜ未婚化が進むのか。若い世代は「出会いの機会がない」「雇用事情や経済事情」を理由に挙げる。また、「コミュニケーション不得手」にも悩む。様々な壁が絡んで「結婚しにくい社会」であることは想像できる。

かつて地域には、若者が仲間と共に語りあい、学びあい、支え合う中で成長できる「居場所」があった。誰にでもオープンに開かれたネット社会では、そういう場は必要とされなくなったのかもしれない。だが、誰にでもアクセスしやすくなった手段を用いてさえ、異性に自分の思いをうまく伝えられずに悶々としている若者は多い

ように思う。

婚活とは、若者の心を育てることから始まる——そう気づかせてくれた滋賀県の「出会いイベント」の1例を紹介したい。県行政は結婚支援事業として県の青年団に琵琶湖の船上出会いパーティー企画運営を委託した。実行委員は約20人の未婚の青年男女。彼らは職業も時間もバラバラな中、毎土曜日の夜に集合し、この事業の意味から話し合いをはじめた。「結婚って何だろう」「婚活なんてわたしは嫌い」「自分のことで精いっぱい」「自分も未婚なのに人の世話できないよ」と本音からスタートした集まりは半年間も続いた。そこに、わたしと、県職員がファシリテーターとしてその期間寄り添った。仕事と活動の両立に苦しみながら、彼らは当日男女合わせて200名を集めた。

当日のパーティーは大成功。委員の若者は達成感と仲間との強い絆に感動と共感を感じ皆泣いた。その中からカップルも誕生した。

出会いの機会があっても人間関係の結び方に戸惑う若者たちにどう寄り添うか。結婚支援事業の課題はそこにあることを感じた。



板本 洋子 さん

NPO法人全国地域結婚支援センター代表。

元日本青年館結婚相談所所長。結婚支援アドバイザーとして活躍中。

「地域・若者・家族・女性・結婚」をテーマに各地で講演を実施。主な著書に『追って追われて結婚探し』（新日本出版社2005年）などがある。



このコーナーでは、県内で活躍する団体にスポットを当て、その活動をご紹介します。今回は、「北名古屋市女性の会」をご紹介します。

❖ 北名古屋市女性の会 ❖

1 これまで

「北名古屋市女性の会」は、平成18年の師勝町と西春町の合併に伴い、婦人会の名称も改め目的も新しくして生まれ変わりました。これまでどおり、会員のスキルアップのための講座やボランティア活動はもちろんですが、時代のニーズに対応していくため、「男女共同参画社会の実現」をめざし地域社会の発展に寄与することをもう一つの目標としました。

会としての「男女共同参画」との関わりは、師勝町婦人会として実施した平成15年の「男女共同参画についての意識調査」のアンケートから始まり、劇「モモタロー・ノー・リターン」の地元の小中学校や各地での上演、講演会を主とする「男女共同参画のつどい」、DV問題を取り上げたペープサート劇、介護について考える人間紙芝居など身近な問題を取り上げ、「気負わず」「わかりやすく」をモットーに今日に至っています。

昨年度は、長年の活動に対して、県知事より表彰もいただきました。

平成19年に県の人権委員会の委託事業を受けるのを機会に、会の中で独自に委員会を立ち上げ、以来、約20名の有志の会員により男女共同参画に関する活動が運営されています。中には87歳の方もおられ、元気をいただいています。



劇「モモタロー・ノー・リターン」の様子

2 いまは

今年度の「男女共同参画のつどい」は、あいち男女共同参画財団との共催のサテライトセミナーとして10月に、講師に阿南東也氏をお迎えし「ファーストレディからマダムプレジデントへ」と題して、アメリカにおける女性と議会、初の女性大統領誕生の可能性などをテーマにした講演会を開催しました。

3月に開催する「男女共同参画」をメインテーマとした「とらいあんぐるフェスタ」に向けて市民活動推進課との協働で、目的を同じくする市内の各種団体とともに企画・運営に携わっています。女性の会は初心にかえて「モモタロー・ノー・リターン」を朗読劇として発表する予定で、現在、けいこの真っ最中です。



「男女共同参画のつどい ~DVってなに?~」の様子

3 これから

10年以上にわたって、男性も女性もおとなも子どもも、一人の人間として生きやすい世の中になるようさまざまな角度から問題を取り上げ、考えるきっかけを作ってきました。でもこれまでの常識はなかなか変わりません。それでも「できることを」「できるところから」をモットーに、日常の小さなことがらにスポットをあて、「それっておかしい？」と伝え続けていきたいと思っています。

問い合わせ先

北名古屋市女性の会 大口 有紀
TEL/FAX 0568-22-3781
北名古屋市役所 生涯学習課
TEL 0568-22-1111

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社

東海東京フィナンシャル・ホールディングス（株）では、経営計画“Ambitious 5”において「女性の活躍推進」を重要なテーマのひとつに掲げています。「2017年3月末までに女性管理職比率20%」を目標として、女性役員・女性管理職を積極的に登用しております。また、男女を問わず誰もが能力を十分に発揮できるよう、環境の充実に向けた取組を行なっております。

(1) 両立支援環境の充実 (2) 女性管理職登用のための教育機会の充実 (3) キャリアパスの多様化



人事企画部
ダイバーシティ推進室
室長
岡田 公代 さん

日々働ける事や育児が出来る事に対し、感謝の気持ちを忘れないよう心がけています。自分に余裕がない時こそ冷静になり「多くの事が出来るのはありがたい事」と考えるようにしています。そう思うと、良い結果に向けて努力するのは当たり前のことだと思えるからです。

仕事も育児も「出来ることは何でもやってみよう」という気持ちでチャレンジしてきました。管理職に就くと、自分ひとりでは出来ない大きな仕事が出来ようになります。チームが進むべき方向を共有すると、メンバーから自分にはない様々な発想が出てきます。多様な個性を持つメンバーひとりひとりが能力を十分に発揮できる環境を常に整えることが、管理職の重要な役割だと思います。そして管理職と母親の役割はよく似ていると感じます。職場でも家庭でもしなやかなまとめ役でありたいです。

碧海信用金庫

当金庫は、女性が仕事と家庭を両立し、長く活躍できるよう支援策を充実してまいりました。その結果、ほぼ9割の女性が「育児休暇」や「育児のための短時間勤務」を利用し復職をしております。また、能力とやる気のある女性が、「明るく」「活き活き」と「自信を持って」管理職を目指せるように環境整備にも取り組んでおります。



知立支店
課長
水越 清子 さん

入庫当初は今の自分を想像する事はできませんでした。目の前の仕事や課題を解決していくのが精一杯で、周りの先輩に追いつけるようにと日々を積み重ねてきました。

今後も、仕事と家庭の両立やキャリアを形成していくことに、様々な不安を感じていますが、どちらも全て一人で乗り越えられるものではありません。不安を抱え込むのではなく、職場の上司、同僚に支えられている事に感謝をし、また支える側になった時は一生懸命に相手の立場に立って取り組む事を心掛けています。

何度も壁にぶつかりながらも、続けてきたからこそ出会えた人々と経験があります。新しい事に挑戦することは不安もありますが、自分の可能性を広げるチャンスであり、どんな経験も人生を豊かにしてくれるものだと思っております。

「あいち国際女性映画祭2015」の開催に向け、下記の募集を行っています。

- デザイン画 (1) ポスター、パンフレット表紙のデザイン (賞金 5万円)
(2) フィルム・コンペティション (長編フィルム部門・短編フィルム部門) のイメージキャラクター・イメージキャラクター入りロゴのデザイン (賞金 5万円)
- フィルム・コンペティション作品 (1) 長編フィルム部門 グランプリ 「金のコノハズク賞」(賞金 50万円)
準グランプリ 「銀のコノハズク賞」(賞金 20万円)
(2) 短編フィルム部門 グランプリ 「金のカキツバタ賞」(賞金 20万円)
準グランプリ 「銀のカキツバタ賞」2作品 (賞金 各10万円)
観客賞 (賞金 5万円)
- 「女性の活躍、わが社のチャレンジ ショートフィルム2015」作品

詳細は、下記公式サイトをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています！

(公財) あいち男女共同参画財団 / <http://www.aichi-dks.or.jp> あいち国際女性映画祭 / <http://www.aiwff.com>

女性の活躍状況と活躍によるメリットの「見える化」を図ることを目的として、県内企業等を対象とした実態調査を行いました。

1 調査の概要

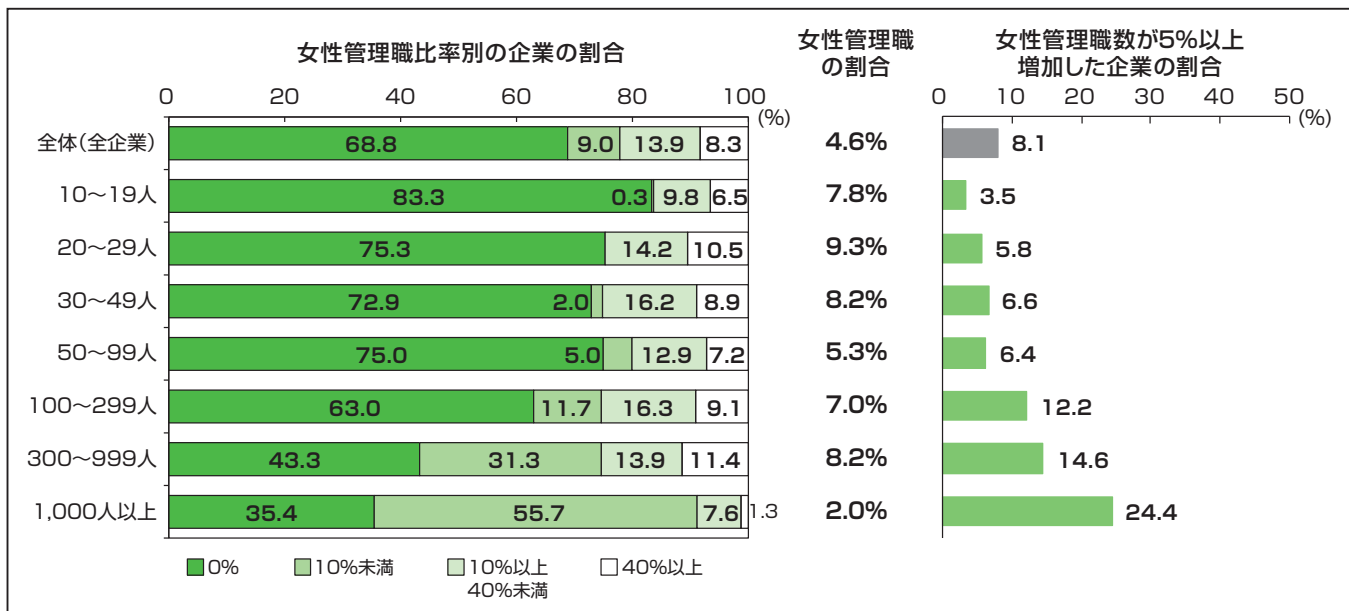
調査対象：県内に本社がある従業員10人以上の企業等11,000社（郵送アンケート調査）
 調査期間：平成26年6月～7月
 有効回答数：2,914社（26.5%）



2 調査結果（抜粋）

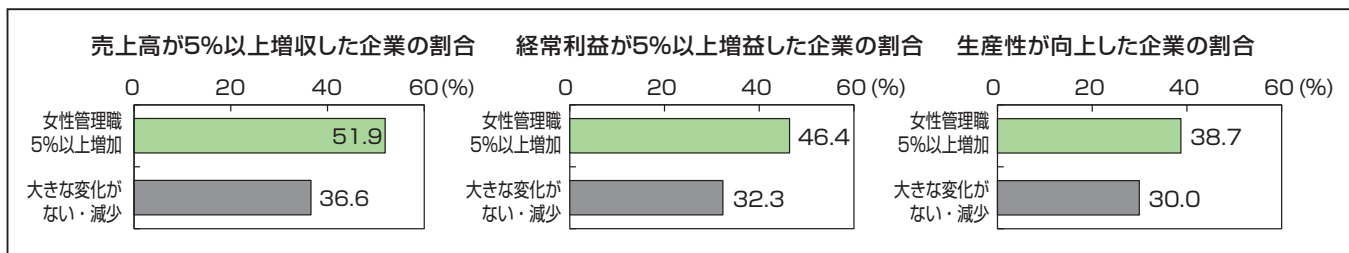
1. 従業員規模別の女性の「活躍」状況

規模の小さな企業は、「女性管理職比率」が0%の企業割合が高く、「女性管理職数が5%以上増加した企業の割合」も低い状況がみられます。規模の大きな企業は、総じて「女性管理職の割合」が低いものの、「女性管理職数が5%以上増加した企業の割合」が高い状況がみられます。



2. この5年間の女性管理職数の変化と過去3年間の業績の関係

この5年間に女性管理職数が「5%以上増加」した企業と女性管理職数に「大きな変化がない・減少」した企業について、過去3年間で売上高や経常利益が5%以上増収増益している企業等の比率をみると、女性管理職数が「5%以上増加」した企業のほうが、「大きな変化がない・減少」した企業に比べて、割合が高くなっており、女性管理職の登用に積極的な企業は業績が向上する傾向がみられます。



※調査報告書等については、ホームページよりダウンロードできます。

<http://www.pref.aichi.jp/000078948.html>

問い合わせ先／愛知県県民生活部男女共同参画推進課 電話：052-954-6657

情報ライブラリー Book Cafe

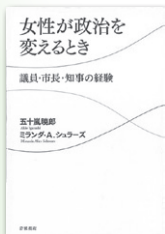
今知りたい、今読みたい！本 ～女性たちと政治～

Book Cafeでは、今知りたい・読みたい！本を紹介します。今回のメニューは「女性たちと政治」です。政治は遠いこと…そんなふうに思っていませんか。わたしたちが選んだ議員たちが代表として議会で政策を決めてきた結果が、今の日本の社会です。様々な課題を解決するには政治を変えることが大きなカギになります。女性の力を政治に活かすには？情報ライブラリーの本にそのヒントがあります。

女性が政治を変える

『女性が政治を変えるとき 議員・市長・知事の経験』

五十嵐暁郎、ミランダ・A.シュラーズ著（岩波書店）



日本にも、立ちはだかる障壁にひるむことなく政治に携わり、政治を変えてきた女性たちがいる。国会議員、都道府県・市区町村議会議員、また市長・知事を務めた52人も女性の政治家へのインタビューを通して日本政治の変化を描く。

政治に参加する

『選挙を盛り上げろ！』

岩上安身ほか著、影書房編集部編（影書房）



自分の暮らしや社会のこれからを考える機会のひとつが選挙。問題山積だからこそ、選挙を盛り上げようと活動している人々へのインタビューを通して、誰もが生きやすい社会をつくるために、市民の意思をどう政治に反映させるのかを考える。

『クオータ制の実現をめざす』

WIN WIN編著（パド・ウィメンズ・オフィス）

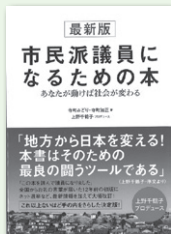
クオータ制とは、政治、経済、学術分野等における女性の割合を確保するための措置のこと。クオータ制を日本で実現し、世界でも際立って低い日本の女性議員比率を上げるには？その意義や世界で導入が進む現状、課題をまとめる。



『市民派議員になるための本』

あなたが動けば社会が変わる 最新版』

寺町みどり、寺町知正著（WAVE出版）



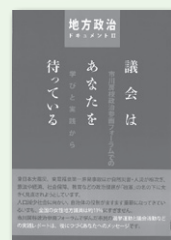
地方から今の社会を変え、市民の政治を実現するために、勝てる市民型選挙、議会活動、議員の働き方、めざす政策実現までの手法やノウハウを公開。議員になりたい人、議員を出したい人、市民として地方を変えたい人に。

『議会はあなたを待っている』

市川房枝政治参画フォーラムでの学びと実践から』

市川房枝記念会女性と政治センター出版部編
(市川房枝記念会女性と政治センター出版部)

ふつうの市民がどのような思いで議員・首長を志し、どのようにまちづくりをしているか？市川房枝政治参画フォーラムで学んだ46人の選挙運動、議会活動、現在取り組んでいる活動などをまとめた実践レポート。



『20 / 30プロジェクト。』

上野通子ほか著、小池百合子編（プレジデント社）

「20 / 30プロジェクト」とは2020年、日本のあらゆる分野で指導的地位の女性の割合を30%以上にする自民党の公約。女性議員らが、いい国づくりのヒントを示す。



ようこそ情報ライブラリーへ ホームページがさらに使いやすくなりました！

ウィルあいち情報ライブラリーのホームページには、資料の検索や貸出中の資料の予約など、便利な機能があります。

2月から、さらに使いやすくなりました！ぜひご利用ください。



- ◆一度ログインすると、予約するときなどにページを移動してもログイン状態が維持されるようになりました。
※共有のパソコンをお使いの方は、必ず終了時にログアウトするようご注意ください。
- ◆情報ライブラリーからのお知らせや資料の詳細を、ツイートしたりフェイスブックで「いいね！」できるようになりました。
- ◆検索したキーワードを、国立国会図書館など他のサイトで続けてそのまま検索できます。

ウィル おじさん

絵:ナハ



編集後記

今回の「ウィルプラス」はいかがでしたか？あなたのご意見ご感想を（公財）あいち男女共同参画財団企画協働課までお寄せください。

「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページからもご覧いただけます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

愛知県女性総合センター（ウィルあいち）のご案内

開館時間 9：00～21：00

■情報ライブラリー利用時間 9：00～19：00

休館日 年末年始（12月29日～1月3日）、施設点検日（年10回程度）

■情報ライブラリー休業日

上記の他、毎週月曜日（祝日の場合は翌日も休業）、祝日（土日は除く）、整理期間

所在地 〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地

問合せ先 <http://www.will.pref.aichi.jp/>

■施設利用受付 指定管理者 コングレ・愛知グループ（ホール・会議室・宿泊室）

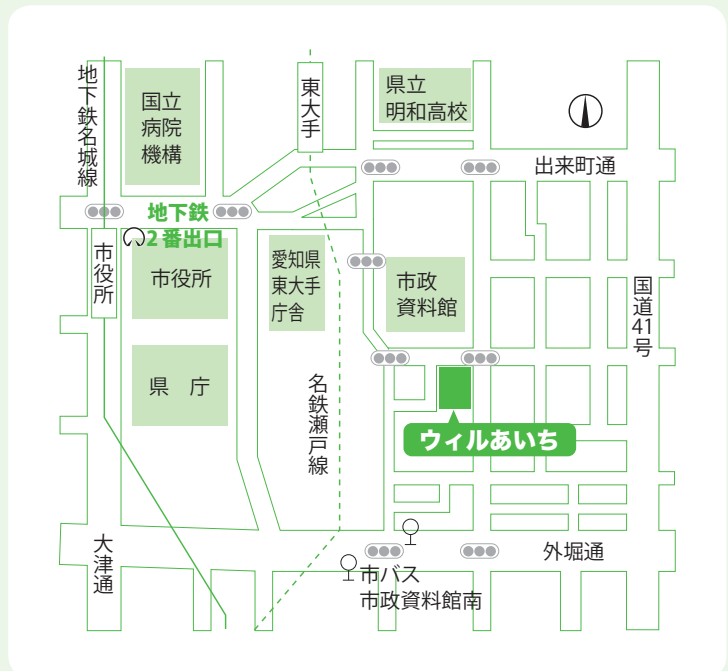
電話 052-962-2511

■情報ライブラリー

電話 052-962-2510

[交通のご案内]

- 地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ 徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ 徒歩約8分
- 基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ 徒歩約10分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ 徒歩約5分
- 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。（駐車場有料）



ウィルプラス No.82 2015

編集・発行	公益財団法人あいち男女共同参画財団
住所	〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地 (愛知県女性総合センター内)
電話	052-962-2512 (企画協働課)
F A X	052-962-2477
財団 H P	http://www.aichi-dks.or.jp
発行	平成27年3月 (年3回/次号: 27年7月発行予定)